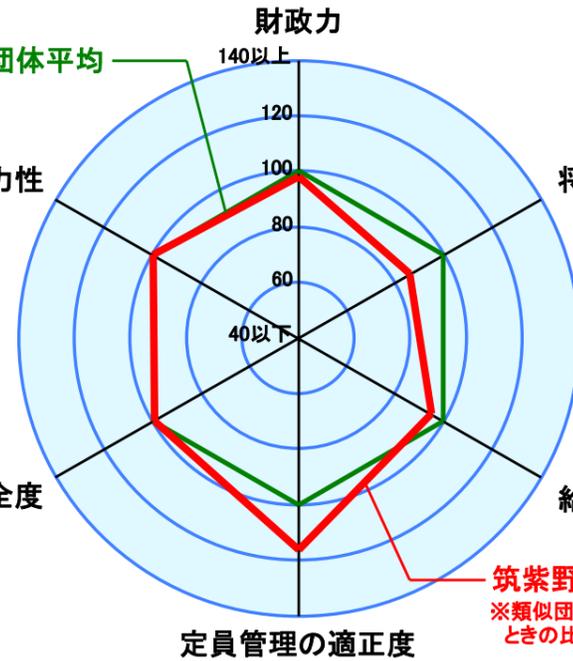


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

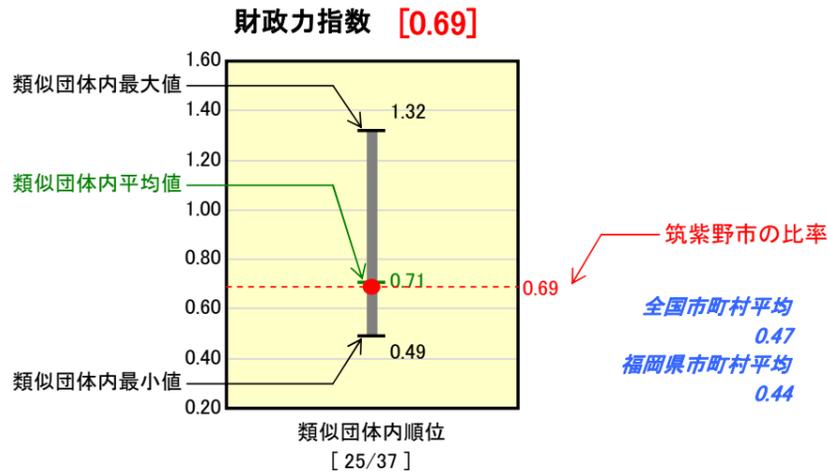
福岡県 筑紫野市

人口	96,904 人(H17.3.31現在)
面積	87.73 km ²
歳入総額	29,577,473 千円
歳出総額	28,969,515 千円
実質収支	448,665 千円

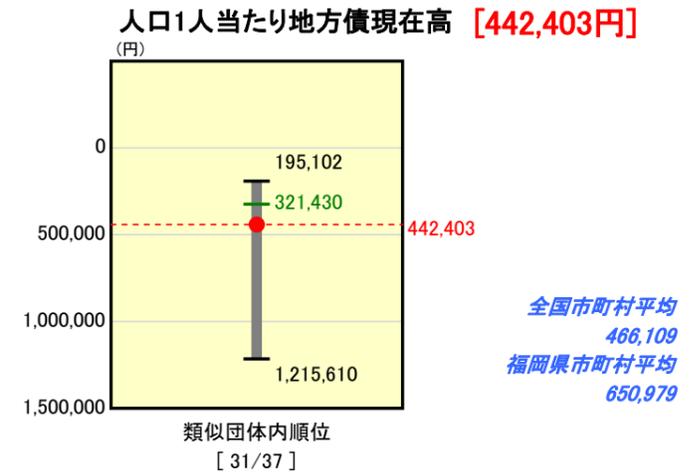


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

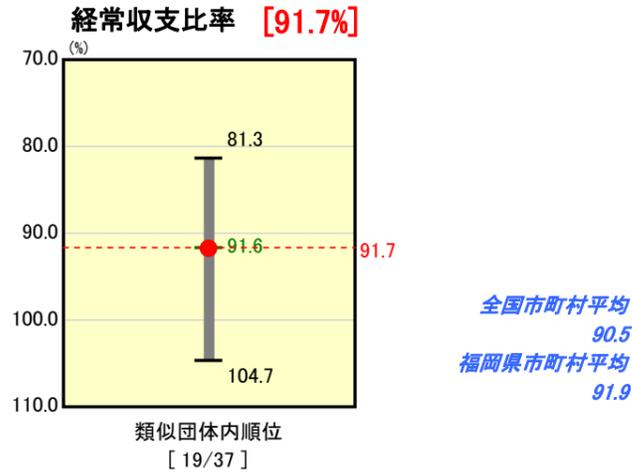
財政力



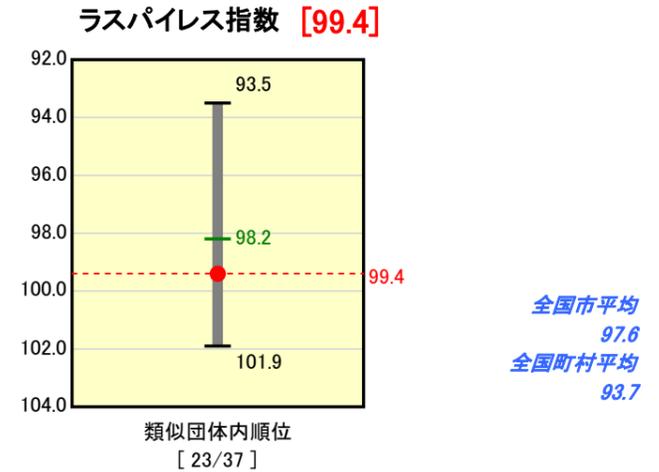
将来負担の健全度



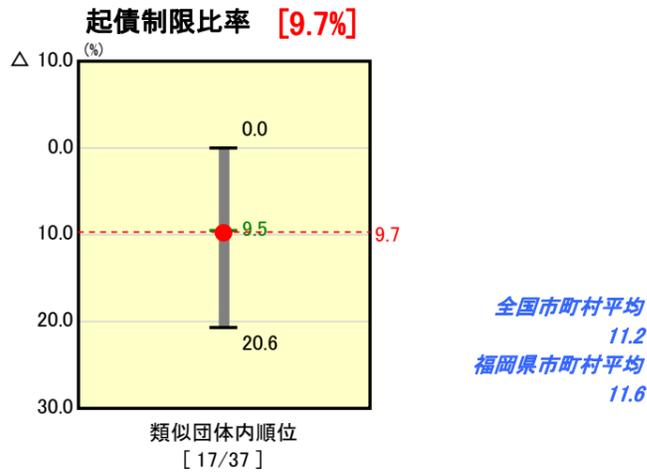
財政構造の弾力性



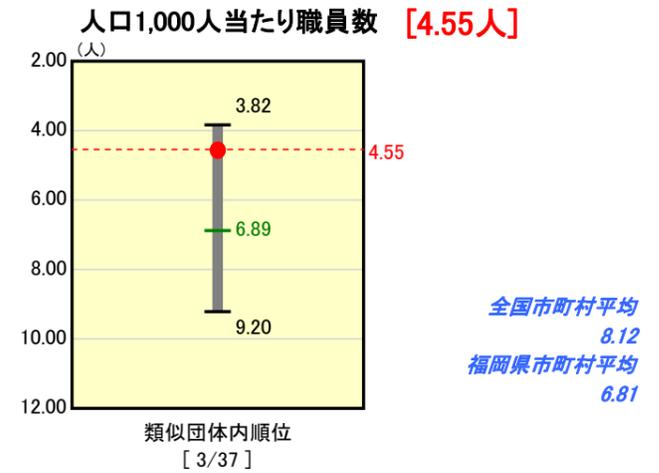
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
筑紫野市の財政力指数は、類似団体平均値をやや下回っている。少子化時代を迎え税収確保を図るには優良企業の誘致が有効な手段である。当市は地理的・物理的有利性を利用した企業の誘致を図るべく取り組みを行なっている。

○経常収支比率
平成17年度、公債費の繰上げ償還により公債費の削減を図ることや、職員の不補充などを実施してきているが、国民健康保険事業特別会計、ごみ処理施設建設負担金の増加により義務的経費が増加してきており、類似団体を若干上回っている。社会保障費の増加など、今後の財政支出構造の変化に対応していくには、行財政改革への取り組みを推進することで現在の水準を維持していく。

○起債制限比率
都市化に併せて投資事業の実施を行ってきたが、交付税算入率の高い市債を有効に活用した事業展開により、他市に比べ起債残高が多い割には起債制限比率は他市並となっている。今後は繰上償還などにより起債残高の縮減を図っていく。

○人口1人当たり地方債現在高
類似団体を上回っている主な原因としては、平成6年度以降各種大型公共事業を立続けに実施してきた事。また、多くの都市整備を抱え事業推進のため土地の先行取得をおこなっていたが、平成13年度から5か年に渡り買戻しを実施してきた。これら事業の財源の多くを起債に求めてきたことで起債残高が他の類似団体よりも多くなっている。

○人口1,000人当たり職員数
市の面積が広大で、類似団体と比較し、出張所の数も多いが職員数は類似団体を下回っている。これは、ごみ・し尿収集の民間委託や文化会館の指定管理者制度によりアウトソーシングを推進してきた結果と受け止めている。
近年の財政危機により経費削減策を推進するなかで、平成16年度末において退職する職員8名の補充を行わず、行政サービスの維持には事務事業の見直しによる適正配置で対応してきた。今後とも、筑紫野市としてさらなる効率化の促進を図り筑紫野市財政健全化計画の真摯なる実行により健全な財政を目指していく。